

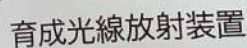
農業を元気に

昨年の現代農業2月号・6月号で育成光線放射装置の原理や効果についてご案内しました。今回は最近の異常気象により農作物にいろいろ弊害が出てきて、作物が変形するなど、品質の葉卷きが弱く安定していません。人は劣化現象が各地で起きています。極暑だから、水不足だからとあきらめていきます。全てはお天気次第ということです。この様な問題に対して何か方法がないのか？安定した農業を進める法にはどうしたらいいか？環境に順応させる方法が可能になれば安定して作物の生産が出来るということになります。

す。その意味から環境に対応した農業に役立つ装置として「育成光線放射装置」氣施氣^{きせき}一^{いち}を、再度ご紹介させていただきます。

最初に育成光線放射装置とはどのような装置か再度ご案内いたします。

育成光線の放射率は95.6%と極めて高く出ています（育成光線とは遠赤外線波長のうち4〜14ミクロン領域



の波長のこまです）。言われていいます。育成光線放射装置を通った水は、瞬時に0.276nmという極めて超微細な水分子になります。この水分子は植物の細胞膜を通過出来る大きさです。育成光線は一秒間に100兆回という極めて超微細な振動エネルギーを持って発表されています。又、育成光線水はマイナスイオンを帯電したマイナスイオン水となります（ここが大変重要です）。

育成光線放射装置は水を機能化させ

る装置です。
それでは具体的に装置を利用した場合の効果についてご案内します。
最近に病害虫の発生が頻発しています。特に最近全国的にイネカメムシなどの害虫が大繁殖して被害が出ており、ます。
そこで、農薬を使わず被害を止める方法についてご案内します。育成光線放射装置に水を通して機能化された水を散水するだけで病害虫の防除が可能と想っています。
理由は次の通りです。

と想つていました。
その理由は次の通りです。

① 病害虫類は大半がプラスチックを帶電して生きています。

② そこにマイナスイオン水を散布すること、害虫類の生存環境を変え、害虫類は死滅するか、その場から逃避するので、結果として作物に被害が発生しないということになります。

次に育成光線放射装置を使って長年成果を上げている方をご紹介します。

四国の高知県で十数年に亘り、育成

光線放射装置「氣施氣」を取り入れて
いる弘田農園の弘田明男さんは、お米
(10a)を中心に、分担(1ha)、みか
(20a)を作っている。最近のこ
とですが「俺の所ではカメムシは一匹
も出ておらんよ!」と豪語されて、装
置の効果を認めて頂いております。

弘田農園のお米は評判が良く、埼玉県日高市の大手畜産会社の売店でほとんどが全量が売られているそうです。この様に「氣施肥」が水を機能化することで防除効果もあると同時に米の品質も向上させています。例えばアミノ酸は普通のコメと比べて、7倍ほど多くなっています。また硝酸態窒素も少なくなり、お米、ミカン、分担も美味しとい評判が良く消費者に喜ばれているようです。誠に頼もしい農家ですね！

次にこれからも異常気象が進む中でそれに負けない安定した作物を作るにはどうすべきかについて、基本的な方法を提案いたします。

線農法)の中で種子の浸漬作業をすることが健全な作物を生産する手段として効果が発揮されると分かっています。このDNAを活性化させることで作物は環境を読み取り生育していくこ

“気施肥”の価格表			
型式	サイズ外寸(内寸)mm	重量	仕様
20型	71(Φ27)×63×H150 内径横35×縦25	730g	外装 sus304 シリアル番号 専用バンド付 塩ビ管 VP-20 を含め同サイズの鋼管・鉄管に適合 B ホース Φ20・Φ24・Φ31(少し圧がかかる)に対応
25型	71(Φ32)×63×H200 外周223mm	850g	外装 sus304 シリアル番号 専用バンド付 塩ビ管 VP-25 を含め同サイズの鋼管・鉄管に適合
50型	113(Φ61)×97×H200 外周350mm	1550g	外装 sus304 シリアル番号 専用バンド付 塩ビ管 VP-50 を含め同サイズの鋼管・鉄管に適合
型なし	どの様な寸法にも対応致します お気軽にご相談下さい	適正価格	外装 sus304 シリアル番号 専用バンド付 事前寸法確認

全サイズ共通特徴:ランニングコスト0円(不要)
取付費なし 持運び簡単 半永久 酸化なし(錆びない)

とが解りました。某社の発芽試験で、育成光線放射装置を通した育成光線水に種子を30分程度浸漬処理することによって育成光線が水を通して種子のDNAを

活性化させ、種子は環境を読み取り成長している？と考えられます。この農法は生産の規模の大小には関係ありません。この農法で栽培された農作物は高品質で美味しい作物だと確信しています。

纏めに諺を「医は食にあり、食は農なり」は、健康に生きるための基です。その為に、作る人も、売る人も、そして食べる人も皆で農業を応援し元気にしましょう。これを実践しているお店が東京都羽村市のスーパー（株）福島屋さんです。

【育成光線放射装置「氣施氣」】は全国の農業生産者を応援しています。

育成光線放射装置開発者
水と遠赤外線の研究 36年
東京都武蔵村山市 石井賢司

TEL : 090-3108-2441
Mail : hiet815@gmail.com

【お問い合わせ先】

 株式会社 **エコ・サッポロ**

〒065-0031
北海道札幌市東区北31条東16丁目2-18
TEL 011-206-6606
<https://www.eco-sapporo.co.jp>

育成光線放射装置についての
参考記事

